

② 受精卵移植を活用した病気に強い乳用牛の効率的な生産技術の確立（H22～25年度）

実施主体：福井県畜産試験場

担 当：家畜研究部肉牛バイテク研究G

連携機関：(社) 家畜改良事業団、(社) 畜産技術協会

1. 研究の目的・必要性

安全・安心でおいしい生乳の生産には、健康で乳房炎等の病気にかからない乳牛を飼うことが重要である。遺伝的改良のアプローチにより、県内で病気に強い連産長寿の乳牛を探すとともに、受精卵移植技術を活用して雌精液を使用した雌受精卵のみを生産する効率的な後継雌牛の増殖技術を確立する。

2. 研究項目・内容・年度計画等

研 究 項 目	研 究 内 容	実 施 年 度			
		H22	H23	H24	H25
①健康長寿牛のスクリーニング	・健康長寿の牛のスクリーニング (牛群検定データ、遺伝子検査)	← 供卵牛選抜 →		← 供卵牛選抜 →	
②雌のみ生まれる生産技術	・卵胞を複数発生するホルモン処置（過剰排卵処置） 時の人工授精適期の検討	←	卵巣観察による過剰排卵開始時期の検討	人工授精時期の検討	→
③受胎率の向上	・凍結受精卵の生存性向上	←	凍結溶液、凍結速度の検討	→	→
④生まれた雌子牛の能力検証	・生産子牛の乳房炎抵抗性保有状況調査 ・分娩後の乳房炎および疾病発生状況調査			← 生まれた子牛の調査 →	→
事業費（千円）	試験研究事業	2,667	2,460	2,460	1,843

3. 期待される成果等（成果目標）

- ・病気に強い雌子牛の生産技術が確立されることにより、雌精液を活用した受精卵の採卵から凍結、移植までの一連の受精卵移植技術の向上が図られる。
- ・研究成果を県営育成牧場技術者、獣医師等に技術移転を実施（技術指導、講習会の実施）
- ・病気に強い雌子牛の生産：研究終了時点で 10 頭
- ・移植できる雌の受精卵採取数の向上：現状 2 個／回→目標 3 個／回
- ・受精卵移植技術の受胎率向上：現状 35%→目標 50%

4. 予算額 2,459,695円（地域科学技術振興研究事業）

（財源：国庫10/10〔特別電源所在県科学技術振興事業費補助金〕）